

Case : 44

ベッドの柵（サイドレール）に臀部をぶつけ、転倒しそうになる

### 場面の説明

夜間、利用者がベッドに戻って腰掛けようとした際に、誤ってベッドの柵（サイドレール）に接触した



利用シーン	 起居・就寝  立ち座り  夜間
主な利用場所	 寝室
介護保険の種目	 特殊寝台付属品
分類コード (CCTA95)	181227 (ベッド用サイド・レール, ベッド固定式起き上がり手すり)
介護テクノロジー	—
二次元バーコード	

### 解説

視力の状態によっては昼間でも起こりえる事例です。利用者に注意を促すことも必要ですが、ベッドの柵（サイドレール）の長さを変更するなどの対応を検討しましょう。

### 参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

モノ：夜間だとベッドの柵（サイドレール）が認識しづらい  
 環境：フットライトなどの照明をつけていなかった

日付：	所属：	氏名：
-----	-----	-----

Case : 44

ベッドの柵（サイドレール）に臀部をぶつけ、転倒しそうになる

事例詳細



回答前に見ないこと

### 場面の説明

夜間、利用者がベッドに戻って腰掛けようとした際に、誤ってベッドの柵（サイドレール）に接触した



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ